

鳴教かわら版 No. 12

消費者教育推進プロジェクト



金子浩之 消費者庁 参事官
 安部栄一 理事
 佐古秀一 理事
 日下部英紀 消費者庁 総務課長
 高田 潔 消費者庁 政策立案 総括審議官
 坂本有芳 准教授
 宮腰光寛 大臣
 山下一夫 学長
 大石雅章 理事

宮腰内閣府特命担当大臣が鳴門教育大学を視察

2019（平成31）年1月9日（水）、消費者庁の宮腰光寛（みやこし みつひろ）内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）が、本学を視察に訪れました。

今回の訪問は、本学が実施している「消費者教育推進プロジェクト」をはじめとする消費者教育への取組についての視察と意見交換を目的としており、山下一夫学長から大学の概要や特色に関する説明の後、坂本有芳准教授（プロジェクト・リーダー）からプロジェクトの概要、消費者庁や徳島県との連携による事業等を含めた2018年度の取組状況について説明しました。

宮腰大臣からは、消費者教育推進上の課題について質問があり、坂本准教授から新学習指導要領に対応した消費者教育の取組として、徳島県と本学の協力による中学生向け教材づくりについて説明しました。

本学は、このことを一つの励みとして、今後も消費者庁や徳島県などと連携し、消費者教育を一層推進していきます。

消費者教育推進プロジェクトについて

2016（平成28）年7月に「鳴門教育大学消費者推進プロジェクト」を立ち上げ、3年目を迎えました。

消費者教育推進プロジェクトは、様々な分野で消費者教育を実践できるよう本学の教員、附属学校教諭、事務職員などで構成されており、「効果的な消費者教育の方法・内容の検討と実践」のため、次の3つを柱としています。

- ① 消費者教育を担う教員の養成
- ② 地域連携による消費者教育の推進
- ③ 消費生活に関わる学術研究

プロジェクトの取組は、本学ウェブページや鳴教かわら版（No. 3及びNo. 7）でも、ご覧いただけます。

消費者教育推進プロジェクトの取組

消費者庁、徳島県との協力体制のもと、行政機関や学校、市民団体などと連携しながら、消費者教育の先進拠点として様々な取組を行っています。

大学院の授業では、2017年度に引き続き、消費者庁職員を特別講師に迎えて講演いただきました。

2018年6月2日(土)には、福井 照(前)内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)が本学を視察され、意見交換をされました。福井(前)大臣、山下学長、大石理事、佐古理事の4人全員が、1953(昭和28)年大阪生まれということもあり、話が弾み、終始和やかな雰囲気でした。



2018年6月
福井照(前)大臣の視察



2018年10月
川口康裕消費者庁政策参与による特別講演
(12月からラトビア大使)



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

エスディー・ジーズ 持続可能な開発目標 (SDGs) について

世界中の人々が一緒になって2030年までの達成を目指すSDGsが、2015年に国連で採択されました。SDGsは、17の目標と目標ごとに設定された合計169のターゲットからなっています。教育についての目標は4番目。さらに、消費者教育に関わりがあるのは、2番目の「飢餓」、3番目の「健康と福祉」そして12番目の「生産と消費」などについての目標です。

また、我が国では、2005年以降、学校を中心に進められてきた持続可能な開発のための教育(ESD)は、今やSDGsを達成するために必要な能力や態度を育てるための教育として位置づけられています。

鳴門教育大学消費者教育推進プロジェクトの活動は、SDGs達成に向けた取組と結びついています。



中高年向け消費者教育講座
「50代からのお片づけ」



(左から) 坂本有芳准教授、
内藤恵子整理収納アドバイザー、
黒川衣代教授、金員均教授



講演
「家庭の食品ロスを効果的に減らすには」



子どもの事故防止をテーマとした講義

初の秋季入学者を受入れ

2018年10月1日(月)、ネパール及びセネガルの現職教員である3名の大学院生が、本学初となる秋季入学者として、JICA(国際協力機構)の新留学生プログラムで入学しました。

翌2日(火)に挙行された入学式において、山下学長は、「我々は、子どもの未来のために、ともに学び、ともに働く教師であり、仲間である。在学中は教員や学生との対話を通じて、相互理解を深め、修了後は母国の教育におけるリーダーになることを期待している」と、母国と日本の架け橋になることに期待を寄せました。



秋季入学者と山下学長(中央)を囲んでの記念撮影

第5回鳴門教育大学ホームカミングデーを開催



菅 章 大分市美術館長

2018年11月3日(土)、鳴門教育大学において、第5回鳴門教育大学ホームカミングデーを開催しました。

5回目となる今回は、約140名の卒業生・修了生等が懐かしの母校を訪れ、お互いの近況報告や思い出話に花を咲かせ、旧交を温めていました。

当日は、大分市美術館の館長を務める本学大学院修了生(9期生)の菅章氏による「ターニングポイント 鳴教大」と題した講演が行われ、院生時代の思い出や、これからの鳴門教育大学への期待が語られました。

さらに、芸術系コース(美術)デザイン分野担当の内藤隆教授の作品展や、附属図書館の所蔵品展など、様々な企画で参加者を歓迎し、同窓会懇親会も大いに盛り上がり、本学と卒業生、修了生の絆が深まったホームカミングデーとなりました。

BP(いじめ防止支援)プロジェクト沖縄大会、徳島大会を開催

2018年9月1日(土)に沖縄大会を、10月27日(土)に徳島大会を開催しました。

沖縄大会は、本学主催のBPプロジェクト研修会では、初の県外開催でした。当日は、沖縄県内の教育関係者を中心に80人が参加しました。沖縄大会では、阿形恒秀鳴門教育大学いじめ防止支援機構長が講演したほか、シンポジウム「沖縄におけるいじめ防止の取組について」では、沖縄県でいじめ問題に取り組んでいる教育並びに警察関係4名のシンポジストから各組織における取組報告の後、阿形機構長も登壇し、会場との活発な質疑応答が行われました。

徳島大会では、池田誠喜鳴門教育大学大学院准教授が講演したほか、「いじめ防止のための教育活動の紹介」と題して、2名の現職小学校教員による道徳教育の授業実践例が報告され、参加者は熱心に聞き入っていました。



シンポジウムの様子(沖縄大会)

平成30年度 鳴門教育大学優秀教員表彰式・特別表彰式を挙行

2018年10月1日(月)、平成30年度鳴門教育大学優秀教員表彰式並びに特別表彰式を行いました。優秀教員表彰は教育・学生生活支援、研究等において優秀な教員を、特別表彰は顕著な功労等のあった職員を表彰しています。

優秀教員(ベストティーチャー賞)



まの みほ 准教授
言語系コース(英語)

本学の国際交流活動及び学生の英語によるコミュニケーション能力の向上を推進した実績を評価



ゆぐち まさふみ 准教授
生活・健康系コース(保健体育)

教育実習の環境整備及び教育実習研究に取り組み、本学の教育実習全般の推進に貢献した実績を評価

特別表彰



そね なおと 准教授
生活・健康系コース(技術・情報・工業)

本学の情報セキュリティの向上を推進すると共に、本学及び地域のICT環境の整備に貢献した実績を評価

あかし やすし

明石 康 (元) 国連事務次長を招き、特別講演を開催

2019年2月17日(日)、元国連事務次長で現在、国立京都国際会館理事長の明石康先生を講師に招き「異文化世界で生きぬくということ」と題し、講演会を開催しました。

本学の教職員や学生だけでなく、高校生、教育関係者、一般市民など県外からの参加者も含め約190人が参加しました。

明石先生からは、日本人初の国連職員として世界平和のために長きにわたり広く国際社会で活躍された経験をもとに、チャレンジする勇氣、日本文化と同様に他国の文化に対する関心と敬意、説得ではなく互いに認め合い信頼関係を築くこと、謝ることの大事さ、知識欲と言葉のセンスなど多くのことを教わりました。

また、本学の「小学校英語教育分野」の教員が中心となって明石先生をお招きしたということもあり、英語学習法について、文法や語彙力は大事、「語学は恥をかかないと上達しない。かいた恥を笑い飛ばす位の気持ちを」と話していただきました。

講演後、参加者から多くの質問が寄せられ、英語で寄せられた質問に対しては英語で回答するといった場面もあり、終始盛況な講演会となりました。そして、講演の内容とともに、何より穏やかで芯の強いお人柄に、参加者は魅了されました。

翌日、鳴門市ドイツ館を訪問され、第一次世界大戦時のドイツ人俘虜^{ふりよ}に対し、国際人道法に則った処遇振りに、感銘を受けておられました。



明石 康 元国連事務次長

おいけ かずお

尾池 和夫 (元) 京都大学総長を招き、ジュニアドクター発掘・養成講座で特別講演を開催

2019年2月24日(日)、元京都大学総長で現在、京都造形芸術大学長の尾池和夫先生を講師に招き、JST(科学技術振興機構)採択事業「徳島県高等教育機関連携型『ジュニアドクター発掘・養成講座』サイエンススペシャルレクチャーを、四国大学交流プラザで開催しました。

この講演は、同講座の受講生が科学・技術領域・分野の第一線で活躍する研究者等との交流を通じて視野を広げることを目的としており、受講生である小・中学生のほか、理数・科学領域に高い関心を持つ高校生ら、約120人が聴講しました。

「日本列島の自然」と題して行われた講演は、宇宙の歴史から日本列島の形成、活断層の正体などの幅広い内容で、参加者は熱心に聞き入っていました。質疑応答では、尾池先生は、参加者から寄せられた質問の一つひとつに丁寧に答えられ、将来、科学技術者を志す受講生や高校生にとって、貴重な時間となりました。



尾池 和夫 元京都大学総長

第4回鳴門リレーマラソン in 鳴門教育大学を開催

2018年10月7日(日)、鳴門市との連携事業「第4回鳴門リレーマラソン in 鳴門教育大学」を開催しました。この日は57チーム600人を超えるランナーが参加しました。

大会実行委員会会長を務める安部栄一理事によるスタートの号砲で始まると、日ごろ鍛えた健脚を披露しました。本学の学生30人もボランティアスタッフとして運営を支え、大学構内が活気に包まれた一日となりました。



安部栄一 理事の開会挨拶



一斉にスタートする参加者